

事業概要シート

施策 0203 教育環境の充実

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	ミライへつなぐ学校教育検討事業	新規	予算額	3,181 千円
事業期間	令和4年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	学校教育法施行規則第41条（小学校） " 第49条（中学校）		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	3,181 千円

【事業の目的・概要・対象】

事業の目的

子どもたちが効果的に学びを深め資質と能力を伸ばすことができるよう、より良い教育環境をめざし学校の適正規模や校則をはじめダイバシティ&インクルージョンにつながる教育分野について検討する。

本市内の学校規模の現状

- ◇小・中学校ともに、適正規模を超える学校、適正規模に満たない学校が存在する。
- ◇市内の年齢別人口の推移を見ると、小学校の児童数は、全体的に緩やかな減少傾向である。
- ◇望ましい学校規模についての要件

【小・中共通】

- 全ての学年でクラス替えができること
- 学校全体での充実した教育活動ができること
- 同学年への複数の教員配置により、共同研究ができること

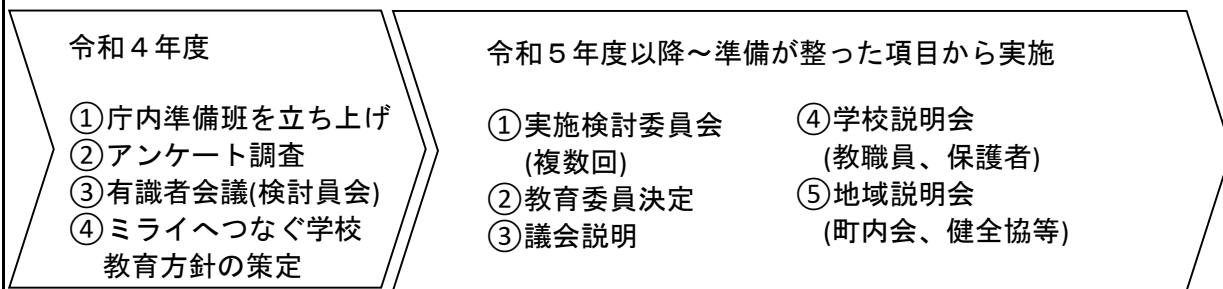
【中学校】

- 部活動の選択ができること
- 全教科の教員配置ができること（9学級以上が必要）

ダイバシティ&インクルージョン

- ◇個々の違いを受け入れ、認め合い、生かしていく教育の推進
- ◇ジェンダーフリーの推進
- ◇特別支援教育の充実
- ◇学習評価の在り方

【年次計画】



【背景】

近年の少子高齢化・グローバル化・情報化の進展など、変化が激しく予測困難な時代において、子どもたちは、多様性を受け入れながら豊かな感性や個性を生かし、互いに切磋琢磨しながら主体的に関わっていくことで、社会で活躍できる資質と能力を最大限に伸ばしていく。またそのためには、多くの児童生徒が互いにコミュニケーションをとりながら学びを深め、多様性を認め人間関係を構築する学習体験が必要不可欠である。

担当課	教育委員会学校教育課	課長	橋口 智秀
担当者	牛嶋 理孝	問合せ先	(0957)53-4111 (内線364)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	有識者会議又は実施検討委員会の開催回数	回			3	3	3
②		計画値					

【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①		計画値					
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	0	0	0	3,181	3,181	3,181	9,543
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源				3,181	3,181	3,181	9,543
人件費	0	0	0	1,454	1,454	1,454	4,363
職員(人)				0.20人	0.20人	0.20人	0.60人
時間外勤務(h)							0h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	4,635	4,635	4,635	13,906

妥当性 (市の関与)	本市立の小・中学校の適正規模や校則をはじめダイバシティ&インクルージョンにつながる教育分野について検討するため、市の関与は必要不可欠である。
有効性 (施策貢献度)	教育環境の整備充実が図られると、予算面や教育活動の充実により、より効果的に児童生徒の資質や能力を伸ばすことができる。
効率性 (コスト)	現時点ではコスト削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり